

上小阿仁村教育委員会
点検・評価報告書
(平成28年度対象事業)

平成29年8月

上小阿仁村教育委員会

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

I 点検・評価の趣旨、実施方法等

1. 点検・評価の趣旨

上小阿仁村教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の趣旨にのっとり、開かれた教育行政を推進するために、平成28年度事業について学識経験者の知見を活用した点検及び評価を実施し、報告書にまとめました。

この「点検・評価報告書」は、議会に提出するとともに、点検及び評価の内容に基づき、事業や施策の改善を図りながら、今後のより効率的で適正な事業の執行に資するものとしします。

2. 点検・評価の対象

平成28年度に実施している事業や施策のうち、教育委員会の年間活動状況と、総務学校班・生涯学習班の課題や目標として定めた15事業を選定し、点検及び評価を行いました。

事業の選定にあたっては、活動内容の精選に努め、重点項目として点検・評価の対象としました。

3. 学識経験者の知見の活用

上小阿仁村教育委員会では、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、「上小阿仁村教育委員会評価委員会」を設置しており、点検及び評価の客観性の確保に努めています。

4. 点検・評価の実施方法

事業や施策の評価表に基づき、教育委員と事務局担当班等による事業や施策の検証と自己評価を実施するとともに、上小阿仁村教育委員会評価委員から意見及び評価をいただきました。

5. 「報告書」の作成計画

- ① 教育委員会に関する事務の点検及び評価の内容について協議
- ② 教育委員及び事務局担当班等による事業と施策に対する自己評価
- ③ 評価委員会において、意見・評価について協議
- ④ 評価委員会の意見・評価を加えて、「報告書」を作成
- ⑤ 教育委員会8月定例会で、「報告書」について議決
- ⑥ 「報告書」を9月議会へ提出

II 点検・評価の結果

1. 教育委員会（教育委員会の点検・評価と評価委員の意見・評価）

※ 達成度について

A（達成している） B（概ね達成している） C（達成していない）

◎ 教育委員会（教育委員に係わる内容）の年間活動状況			
活動内容－1	総合教育会議・教育委員会会議の開催状況	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>（教育委員会会議） 月1回定期的に開催され、学校のみならず村内外の動向まで詳細に報告された。委員間の共通理解も良好と考える。今後もさらに充実したものにしていきたい。</p> <p>（総合教育会議） 年2回実施され、村長の教育に対する考え方が示された。それに対する意見交換も行われた。今後も更に充実したものにしていきたい。</p> <p>（課題等） 総合教育会議の内容はやや形式的な面が見られる。村の動向を見据えながら協議する視点を明確にし、充実した内容になるように工夫する必要がある。更に意見交換を活発にし、より理解が深まるように努めたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>努力していることは評価できるが、会議の開催回数よりも中身が重要であると考え。総合教育会議が2年目にしてはやや形式的な面が見られるとのことであるならば、会議内容に更なる工夫が必要と思われる。更なる努力を望みたい。</p>		
活動内容－2	教育大綱・教育行政全体構想の策定	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>教育大綱・教育行政全体構想の策定により目標は掲げられた。実際の教育に適応するような内容となるようにさらに協議する必要がある。</p> <p>（課題等） 策定した内容に照らして、学校と地域・家庭の結びつきや連携・協力体制等が現実的であるかどうか、さらなる協議が必要である。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>教育大綱・教育行政全体構想の策定により、目標が掲げられていることは評価できる。</p> <p>策定している内容で学校と地域・家庭の結びつきや連携・協力体制等が現実的であるかどうかは課題であるとすれば、計画策定から2年しか経っておらず、計画策定時から問題点があったのではないかと推測される。早急な改善策を望みたい。</p>		

◎ 教育委員会（教育委員に係わる内容）の年間活動状況

活動内容－3	教育環境の整備と学校支援の推進	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>教育環境整備と学校支援はできているものと考えられる。他の市町村に比べて地域の支援活動が活発であることは当村の秀逸な点である。</p> <p>初めて高校生の海外研修や中学生のイングリッシュキャンプが実施され、その研修の成果や充実した内容について報告された。早急に結果を求めず長い目で支援したい。</p> <p>（課題等）</p> <p>新しい学習指導要領が目指す「社会に開かれた教育課程」の理念を実現していくために、村のふるさと教育・キャリア教育のあり方、学校と地域の係わり方について検討していく必要があるのではないか。</p> <p>小学校におけるクラブ活動がスポーツ少年団に移行したが、未だに指導体制が確立していない。具体的な支援の方法について検討が必要ではないか。</p> <p>伝統芸能の支援活動について、地域側から継続性についての不満なども聞かれるので、学校と地域との話し合いの場がほしい。</p> <p>児童生徒の地域へのボランティア活動等を通して、児童生徒や先生達と地域住民がふれあう機会が増えればよい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>教育環境の整備・学校支援の推進状況は、全国的にもトップクラスにあり十分に評価できる。今後は地域の支援に応えられる活動も必要であると考えられるので、課題解決に向けて取り組んでもらいたい。</p>		
活動内容－4	上小阿仁村「教育集会」の開催	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>教育に携わる関係者が一堂に会し、教育集会を持つことは意義あることであり、コミュニケーションを図るよい機会である。</p> <p>学校との距離が遠くなってきていると言われていた昨今、ほとんど会うことも話すこともない教育関係者とリラックスして一堂に会することができる数少ない場と考える。成果を急がず継続して見守りたい。</p> <p>（課題等）</p> <p>内容や講話の持ち方については一考が必要である。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>教育集会の開催については評価できる。課題は、内容や講話の持ち方の一考とのことであるが、事前に小・中・園の課題等を出していただき、共通課題として取り上げ、話し合いをすることも必要ではないか。</p> <p>長年の開催により、内容がマンネリ化してきているのではないかと考えられる。</p> <p>また、保護者の参加も検討するなど全体的に内容を検討協議する時期にきているのではないかと考えるので一考してみてはどうか。</p>		

◎ 教育委員会（教育委員に係わる内容）の年間活動状況

活動内容－５	教育委員に係わる研修の充実	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>全県・東北大会の研修に委員全員の参加を基本としており、委員間の融和が生まれ有意義である。</p> <p>全県・東北大会の研修に参加し、委員が同じ立場に立ち、終了後、感想を述べ合うという点では意義があった。研修内容には理解し難い面もあり工夫がほしかった。</p> <p>様々な課題に関して研修を深める委員同士の話し合いの機会は必要である。研修に関しての詳しい資料等がありよかった。</p> <p>（課題等） 保護者委員は仕事もあり、研修に参加する機会が制限されてしまい、残念である。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>評価できる。保護者委員は参加が難しいとのことであるが、参加できなくても研修内容等を共通理解できるように、教育委員会会議で取り上げ協議することも考慮してはどうか。</p>		
活動内容－６	学校訪問等による教育状況の掌握と激励	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>学校訪問や学校行事等で児童生徒の成長を見ることができた。特に学校祭での劇や伝統芸能の発表では、その演ずる姿が堂々としており感心した。</p> <p>また、こゝに発表会では内容もさることながら、その発表力には驚いた。先生方の指導の下、元気に育っていると感じた。</p> <p>学校訪問を前期と後期の２回実施できれば、課題解決の様子と児童生徒の成長を見ることが可能なのではないか。</p> <p>終業式は、学期の反省と長期の休みに向けての児童生徒の目標発表がある。子ども達の成長を知るよい機会であるが委員も出席してみてもどうだろうか。</p> <p>（課題等） 学校訪問だけではなく普段の授業の様子も見てみたい。また、給食を一緒に食べるなど、各クラスに入って子ども達の声を聞きたい。</p> <p>授業見学後の感想・話し合いの持ち方については検討の余地がある。</p> <p>村の教育状況把握については、受け身的な面があり改善の必要がある。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>評価できる。毎年、同じ内容の繰り返しで実施するのではなく、子どもたちと共に楽しむことのできる内容も考慮してみてもどうか。</p>		

2. 学 校 教 育（学校と事務局担当班の点検・評価と評価委員の意見・評価）

※ 達成度について

A（達成している） B（概ね達成している） C（達成していない）

(事業名)『特色ある教育活動』の推進			
活動内容－1	郷土芸能の伝承活動（小4～中3）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>今年度も小4から中3までの63名が「小沢田駒踊り」「大林獅子踊り」「八木沢番楽」に取り組んだ。</p> <p>7月6日から学校祭当日の10月8日まで、全部で11回の練習には、毎回地域の方々が来校して教えてくださった。児童生徒も一生懸命に活動する姿が見られた。中学生へのアンケートでは、この活動（「村を知る」活動）を通して上小阿仁の良さを感じ取ることができた生徒がほとんど（96%）となっている。他校には見られない特色のある活動となっており今後も継続していきたい。</p> <p>【生徒アンケートの自由記述より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能をやって、フェスティバルや学校祭などいろいろな場で発表して、村に昔から伝わる郷土芸能を受け継いでいきたいと思いました。 ・郷土芸能を通して、伝統を受け継ぐことの大切さを学んだ。 ・郷土芸能をやって、自分たちも知ることができたし、いろいろな人に知ってもらえたのでよかったですと思います。 		
評価委員の 意見・評価等	<p>児童生徒が年々減少しているにもかかわらず、工夫して良く取り組んでいる。児童生徒自身も伝統を受け継ぐ喜びを体感しており、成果を感じることができる。</p>		
活動内容－2	農園・花壇活動（小中学校全校児童生徒）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>今年度も、小学生が学年ごとや縦割り班ごとに学校農園や学校田（齋藤鉄之氏所有）での農作物の栽培、稲作に取り組んだ。学校農園では、各学年とも生活科や理科・こあに学習などに関連する作物を栽培。村の特産物であるほおずきやズッキーニをはじめ、舞茸栽培による舞茸やサツマイモなどがナベッコ活動や給食で提供され、全校児童生徒が収穫の喜びを味わうことができた。また、稲作は、田植えから稲刈り・きりたんぼ作りまで学習をし、こあに発表会でも「田んぼの学習」として発表するなど充実した内容となった。村の特産物を栽培し、収穫後は給食の食材や食育活動の教材とするといったふるさとの食文化を深める取り組みへも繋がっている。年間を通して、村を知り多くの人とかかわりながら心を豊かに育む重要</p>		

	<p>な活動のひとつとして大きな成果をあげることができた。</p> <p>花壇活動は、主に中学生が「地域の方々が訪問した時に喜んでもらえるような花壇をつくる」という思いを持って取り組んだ。次年度は地域施設への花プランターの寄贈など地域貢献へと内容を高めていきたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>村の特産物の栽培・収穫・試食を通して、ふるさとの食文化を学ぶ取り組みへと発展しており、活動の充実が伺える。また、各教科やこあに学習との関連を重視したことで意欲の高まりも感じられる。中学生の花壇活動も積極的に取り組んでいるようで、今後に期待が持てる。</p>		
活動内容－3	海辺の町・湖の町宿泊体験学習（小学校）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○4～5年生 八峰町での宿泊体験学習（1泊2日）</p> <p>「しらかみ体験センター」でのシーカヤックや海水浴、漁師の料理体験等の海の活動に加え、昨年度の反省を生かしメニューに変化を持たせ里山ハイクも行った。天候に恵まれ、海と山両方の豊かな自然体験活動を満喫することができた。平成29年度は、二ツ森登山を新しくメニューに加え、2年間のくり返しの中でも螺旋的に活動内容を高めていけるよう配慮していく。</p> <p>○6年生 函館修学旅行と大沼公園宿泊体験（2泊3日）</p> <p>函館での自然や文化遺産にふれる学習に大沼町での体験学習が加えられ、充実した活動になった。大沼町内での体験学習では、あいにくの雨天のため予定されていたカヌーやサイクリングができなかったが、アイスクリームや生キャラメル作り・毛皮キーホルダー制作など北海道ならではのメニューを体験することができた。また、宿泊先の「ネイパル森」では児童がこあに学習のまとめとして制作・持参した村のガイドブックの配布・PR活動なども行われ、村を外から見直す機会と共に村の良さを発信する機会ともなった。木古内から大沼へ宿泊体験学習先を変更したが、施設・設備、体験内容ともに遜色なく、満足のいく内容だった。平成29年度は湖などの自然にふれる体験活動をメニューに加える他、地域の人や児童との関わりといった視点もとり入れ、いっそうの充実を図りたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>前年度の反省を生かし、検討を加えながら良く実施している。6年生の修学旅行での「村PR活動」は、こあに学習のまとめとしての役割も担っており、良き伝統として今後も継続してほしいものである。</p>		

活動内容－４	小学校本物体験・芸術鑑賞（小１～小６）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○小学校本物体験 大森山動物園動物・動物園学習（小１～小６） 全校児童による大森山動物園での動物・動物園学習を実施。動物園を見学したことがないという児童が多くいたが、多種多様な動物を実際に見たり触れたりする体験を通して、本物の迫力や魅力を知り、動物への興味関心や愛護の気持ちを育むことができた。</p> <p>また、４年～６年の高学年は、ふるさとキャリア教育として、動物園で働く人（獣医さんや飼育員さん）へのインタビューを行い、働くことの大切さや役割を知るとともに、いろいろな職業があることに興味を持つことができた。平成２９年度は、第２弾として男鹿水族館での動物・水族館学習を実施予定。</p> <p>○小学校芸術体験教室 倉沢大樹エレクトーンコンサート（小１～中３）鑑賞と合唱共演 世界エレクトーンフェスティバルでグランプリを受賞し、現在大阪音楽大学特任准教授を勤める傍ら世界各地のコンサートも積極的にこなしている倉沢氏の演奏を鑑賞。その類いまれなる音楽性に児童生徒はぐんぐんひきこまれ、魅了された。また、コンサートの最後では、児童生徒もステージにたち、合唱でエレクトーンと共演。本物のすばらしいエレクトーンの調べと子どもたちの澄んだ歌声の共演という「心を揺さぶる」体験ができた貴重な１日となった。本格的な演奏に生でふれ、鑑賞することで、児童生徒の音楽に対する感性を育てると共に、豊かな情操を養うことができた。</p> <p>平成２９年度は、県教委の事業である「秋田県青少年劇場」に応募し、ミュージカル「オズの魔法使い」を実施予定。 （全経費の三割負担～１９９、８００円）</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>本物体験の中に「ふるさとキャリア教育」のねらいを盛り込んでいることは大変素晴らしいことである。本物にふれることで学びが深まっていく。是非継続していただきたい。</p>		

活動内容－５	外から村を見る宿泊体験学習（中学校）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○中１ 県庁所在地での宿泊体験学習 → 秋田市・男鹿市 秋田市「ルポールみずほ」に宿泊しながら、男鹿市と秋田市の施設の見学及び体験活動を実施した。これらの活動を通して、上小阿仁村のよさや特徴を再発見するとともに、郷土に対する理解を深めさせることができた。</p> <p>○中２ 近隣の県での宿泊体験学習 → 青森県弘前市 昨年の活動を引き継ぎ、弘前市のねぷた村や板柳町ふるさとセンターで体験学習を行った。また、弘前市内では班ごとに事前に計画した班別自主研修を行った。これらの活動を通して、弘前市と村の文化の違いに気付かせることができた。昨年と同様に村の自然の多さに改めて気付いたという生徒が多くいた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>村について考える良い機会となっていたと思われる。同時に宿泊の体験もまた大切な学習の一つである。ねらいに沿った活動であり、成果として捉えられる。</p>		
活動内容－６	中学生本物体験（中１～中３）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○中学生本物体験 あきた芸術村 わらび座観劇とダンス体験（中１～中３） 今年度は「あきた芸術村」へ行き、わらび座の観劇とダンス体験を行った。本格的な劇を観る機会はなかなかないということに加え、劇の出演者がそのままダンスを指導してくれたということで、非常に楽しい一日となったようだ。特にダンス体験では、普段学校で見られないほどの元気な声で自分たちのアイデアを取り入れたダンスを創作し、それを元気に踊る姿を見ることができた。非常に有意義な一日となったようだ。</p> <p>２９年度は、この活動をはじめた初年度と同じ「小坂町探訪」を計画している。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>わらび座観劇とダンス体験がとても充実していたとのこと、体育祭の応援合戦の振り付けや構成にも生きていたように思える。本物にふれる体験は生き方指導につながるものであり、貴重な体験なので是非継続していただきたい。</p>		
活動内容－７	先輩に学ぶ集会（小学校）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○先輩に学ぶ体験学習 山野草栽培体験 ４．５．６年児童 村の花「コアニチドリ」で代表される特色ある産業である山野草栽培の山形正雄氏、齊藤進氏を講師に招き、正課クラブ活動で山</p>		

	<p>野草（秋の小菊）の栽培体験を行った。小菊栽培とあわせて、コアニチドリをはじめとした山野草栽培の話を教えていただきくこともでき、山野草に身近に触れ、美しさや希少価値を感じとる貴重な体験となった。</p> <p>○先輩に学ぶ集会 南沢集落元気村の取り組みに学ぶ 4. 5年児童 南沢集落会長伊藤信義氏より、南沢集落の元気村としての取り組みについて講話いただいた。部落会で管理する栗山での栗の収穫、栗やクルミなどの首都圏への販売、東成瀬村の椿台地域との交流といった活動を通して南沢地域の絆が深まっていった経緯を、地域活力創造課より提供していただいた資料をもとに児童にもわかりやすい話していただいたことで、急激な高齢化が進む上小阿仁村の中にあっても地域活性化のための高齢者たちの取り組みがなされていることを知ることができた。新しい視点で「村を知る」ことができ、次年度の学習や地域貢献への思いを膨らませる良い機会となった。</p> <p>○先輩に学ぶ学習 「ココロの授業」（道徳）6年児童 大館市のファミリーネットワークの村岡昇氏を講師に、「ココロの授業」三回にわたって実施。自分自身の心を見つめ、自尊感情や自己有用感高めていくにはどうしたらよいかを考え、最後の授業で夢を持ち続けやり続けたことで夢を叶えた方々を紹介してもらいながら、夢をもつことの大切さを学んだ。卒業を間近に控えた6年生児童の中学校生活に向かう意識や意欲を明るく前向きに高めることができた。</p>			
<p>評価委員の 意見・評価等</p>	<p>正課クラブや道徳の授業での展開は大変効果的だと考える。また、「南沢集落の元気村としての取り組み」は、子どもたちのこれからの活動に良い刺激となることを期待したいものである。</p>			
<p>活動内容－8</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1317 1134 1402">先輩に学ぶ集会（中学生）</td> <td data-bbox="1134 1317 1289 1402">達成度</td> <td data-bbox="1289 1317 1410 1402">A</td> </tr> </table>	先輩に学ぶ集会（中学生）	達成度	A
先輩に学ぶ集会（中学生）	達成度	A		
<p>点検・評価 （課題等）</p>	<p>今年度は7月に、本校卒業生である大館鳳鳴高校と秋田北鷹高校の3年生に来ていただき、進路の決定に関することや高校生活について話をしていただいた。身近な先輩の話ということもあり、どの生徒も真剣に話を聞いていた。また、質問も多数出た。内容が自分たちにとって近い将来に来るであろうことであり、学ぶことが多い集会になったようだ。</p> <p>また、11月には鷹巣南中学校と合同で株式会社ウサギ代表取締役でおもちゃ開発者の高橋普平氏に講話していただいた。楽しい講話の中に、将来に対して前向きな考え方を教えていただいたようだ。</p>			
<p>評価委員の 意見・評価等</p>	<p>目前の進路選択に向けて、更には将来の生き方に関わる講話等、工夫された内容だと思う。先輩の姿から自分の進路を考える良い機会となっていた。</p>			

(事業名) 学校支援地域本部事業

活動内容	地域の人材活用と教育活動の充実・交流の拡大	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>今年度も、延べ百数十名にもものぼる学校支援ボランティアによる様々な教育活動支援（学習支援・環境整備支援・登下校安全指導・体験交流活動）が実施され、多大な参加と協力を得ている。地域コーディネーターとの連携がその機能を十分果たしており、長年の実績に支えられた活動により、地域や保護者・支援ボランティアに事業の目的や実施している内容が理解され、ねらいに応じて支援内容を工夫するなど事業に対しての理解の深まりと支援内容の充実が図られ、成果をあげることができた。今後は、地域の人財を活用した日常の教科の授業支援や、児童・生徒に育てたい力を明確にした新しい取り組みなど、地域・保護者と一体になった活動内容のいっそうの充実を図りたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>地域コーディネーターとの連携がうまく機能しており素晴らしい。地域や保護者・支援ボランティアの長年に渡る活動の積み重ねが支援内容の充実につながり、大きな成果を挙げているものと思われる。今後も地域の力を大いに取り入れ、より充実した学習がよう積み重ねられるよう期待したい。</p>		

(事業名) 学校生活サポート事業

活動内容	生活サポート員の配置と指導の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>今年度も昨年に引き続き、学級支援のため、小学校に2人・中学校に1人を配置した。子どもの実態に応じ、クラスの枠を超えて弾力的に子ども達を支援することができ、学校生活の安定を図ることができた。</p> <p>小学校においては、関係機関の指導を仰ぎ、サポート員と学級担任が連携しながら、支援を要する児童一人一人のよさや個性をよりよく伸ばすための効果的な支援を行ってきた。当該児童のみならず配置学級全体において著しい変容・成長が見られる。</p> <p>中学校においても、サポート員が学級担任、教科担任と要支援生徒についての情報を共有しながら適切な支援を行った。その結果、当該生徒に大きな成長が見られた。</p> <p>小学校・中学校共に、サポート員配置の成果が大きく現れている。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>この学校規模でこれだけのサポート員の配置が認められれていることは大変恵まれていることである。クラスの枠を超え弾力的な活用</p>		

を図ることで、学校の実情・児童生徒の実態に応じたきめ細かい支援が全体に行き届き、一人一人の子どもたちの成長につながっていると思われる。加えて当該児童のみならず、配置学級全体において著しい変容が見られたということは大きな成果である。

(事業名) 外国青年招致事業

活動内容	NETを効果的に活用した小・中学校の外国語活動と英語指導の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>小学校の英語活動と中学校の英語において、母国語が英語であるNETの授業(TT)を受けることで、実際の英語の発音や学習活動に子ども達が生き生きと意欲的に取り組んでいる。また、NETが日常の教育活動にも積極的にに関わり、外国の文化やスポーツなどを知ることができ国際理解といった視点でも、子ども達によい影響を与えている。</p> <p>小学校においては、今年度は、小学校1～4年生の外国語活動の時間をこれまでの2倍程度確保し、1～6年生まで、「聞くこと」「話すこと」に加え、単語や英文を「読むこと」「書くこと」も取り入れるなど32年度からの外国語教育導入に向けてスムーズな移行がなされるよう、準備が着々と進んでいる。</p> <p>中学校においての英語教諭とのTT学習では、一時間の授業をほぼ英語で行うことで、生きた英語に間近に触れることができている。これが外国語学習への意欲・関心につながっていると同時に、県学習状況調査では県平均を上回る結果につながっている。今年度は初めてイングリッシュキャンプを実施したことも、外国語学習への意欲・関心の向上につながっている。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>言うまでもなく小中学校におけるNETの活用は、外国語学習への興味・関心・意欲につながるものであり、当校においても大きな成果を挙げている。日々の英語学習の充実はもちろん、日常の教育活動にも積極的に関わっていることは大変喜ばしい。特に「イングリッシュキャンプ」の実施は目を見張るものである。関係各位の尽力に感謝したい。</p>		

(事業名) 低学年における指導者を要請した水泳指導の充実

活動内容	小学校1・2年生対象の水泳教室の開催	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>小学校1・2年生の児童を対象に、初歩的・基本的な泳ぎ方を身に付けさせるために、3名の指導者を要請し水泳指導の充実を図った。昨年に引き続き3年目の開催となり、15名の子ども達が参加。指導者から個々の技能に応じたていねいな指導を受け、楽しみながら意欲的に取り組むことができた。</p> <p>2日間で見違えるように上達し、基本的な泳ぎ方を身に付けるとともに、他の泳ぎ方にも挑戦するなど多くの成果が見られた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>水泳は早い時期での正しい指導が重要である。命を守る教育の一環として是非継続していただきたい。15名の児童に3名の指導者を要請し、個々に応じた(技能差に対応した)きめ細かい指導がなされており、水泳指導が充実している。引き続きの開催を期待するものである。</p>		

(事業名) 校舎等改修補修工事事業

活動内容	校舎の改修工事等による安全で快適な学習・生活環境の整備	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>グラウンド校舎側側溝改修工事、教職員用パソコンシステム入替、校長室・職員室エアコン設置工事等を行っていただいた。特にパソコンの入替とエアコン設置により、職員の作業効率が高まったと思われる。今年度はたくさんの改修工事等をおこなっていただきありがたかった。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>見通しをもった年次計画のもとで環境整備が進んでいるようである。今後も臨機応変な対応等も含めて、快適な学習・生活環境の整備・充実を図っていただきたい。</p>		

3. 社会教育（社会教育委員会と事務局担当班の点検・評価と 評価委員の意見・評価）

※ 達成度について

A（達成している） B（概ね達成している） C（達成していない）

(事業名) 青年層の生涯学習ボランティア活動の推進			
活動内容ー1	公民館行事への中高生・青年層の参加促進	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>○かみこあに太鼓フェス 2016 への参加 ○スポーツ関係の公民館行事への参加</p> <p>かみこあに太鼓フェス 2016 には、村内の鼓響をはじめ、村外からも5団体が出演し、多くの青年層の活躍が見られた。 毎年恒例の綱引大会は、例年より参加チーム数が増え、子どもから大人まで賑わいをみせた。体育の日記念行事についても午後のグラウンドゴルフ大会には、多くの小中学生が集まり活気のある大会となった。 いずれの公民館行事についても中学生以上から参加率が減少傾向にあるため、講座の企画や募集に工夫が必要と感じた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>取り組みは評価できる。中学生以上の参加が増えるよう努力していただきたい。</p>		
活動内容ー2	高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア 養成講座の実施	達成度	C
点検・評価 (課題等)	<p>○高校生・青年層の生涯学習ボランティア活動の促進</p> <p>北秋田市の北鷹高校にミニかまくらづくりの高校生ボランティアを募集したところ、女子生徒2名の申込があった。かまくらづくりやキャンドルづくりのお手伝いなど、大いに活躍をしてもらった。 ボランティア活動については地域と交流できる貴重な機会でもあるため、今後も様々な種類のボランティア活動を想定しながら、積極的に高校生以上の青年層へ呼び掛けを実施したい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>26年度から高校生に参加を呼び掛け、28年度では2名の参加があり評価できる。次年度以降も実施してもらいたい。</p>		

(事業名) 高齢化社会に対応した生涯学習の充実

活動内容－1	主体的な活動を目指すかみこあに大学の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○かみこあに大学 ※28年度からかみこあに大学に名称変更 (内容)・開講式 ・小学校交流会 ・ミニ発表会(保育園) ・伊勢堂岱遺跡見学 ・移動研修(NHK見学) ・コース別体験学習 ・物づくり体験 ・修了式</p> <p>平成28年度から幅広い世代が参加できるイメージを持っていただけるように、「ことぶき大学」を「かみこあに大学」へ名称変更した。わずかではあるが、名称変更をきっかけに申込をする方もみられた。事業については、北秋田市の伊勢堂岱遺跡(縄文館)見学や、移動研修でのNHK見学など村外での見聞を広めるものから、小学生との交流や、保育園のミニ発表会見学など、地元の子どもと触れあう機会もあり、内容は多岐にわたった。</p> <p>主体的な活動を促すため、大学生の要望にあった学習内容や体験活動を企画するなどの大学運営に努める必要がある。また年齢層に応じた学習が出来るように配慮することも今後の課題となる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	学生が主体となる大学運営に努力しており評価できる。		
活動内容－2	豊かな体験や知識・技術・特技を生かす場の拡充	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>○絵手紙講座 ○囲碁大会(お盆・新春) ○ポールストレッチ教室 ○ミニかまくらづくり ○生け花教室(奨励員事業)</p> <p>絵手紙講座から結成された絵手紙サークルも今年度で5年を迎え、月1回継続的な活動をしている。小学校から絵手紙サークルへ講師として指導の依頼もあり、今後の活動が期待できる。</p> <p>前年度末から公民館講座の要望募集について、定期的に広報に掲載しているところではあるが、特に要望の提出等はなかった。引き続き広報やかみこあに電話等で周知し、高齢化社会に対応した生涯学習を目指す。</p>		
評価委員の 意見・評価等	広報紙面等に、公民館各種講座の案内や要望募集を掲載するなど、生涯学習の推進に取り組んでおり評価できる。		

(事業名) 学社連携の充実

活動内容	世代間交流事業の推進	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>○八木沢番楽 ○ミニかまくらづくり</p> <p>八木沢番楽講座は一般に対象を広げ、募集したが申込者がいなかったため開催できず、今後の参加者募集が課題となった。 ミニかまくらづくりは、例年より参加者が増加し、保育園児から大人までの幅広い世代が交流する事業となっている。特に小学生の参加については学校からの働きかけにより増加できたため、学校との連携もはかりながら来年度以降も開催したい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	ミニかまくらづくりは世代間交流として評価できる。八木沢番楽講座を開設できるよう努力してほしい。		

(事業名) 生涯読書の充実

活動内容	親子で読書する機会の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○学習週間での図書館イベントの開催 ○ひよこの会（未就学児交流会）での読み聞かせや出張図書館</p> <p>毎年学習週間の土曜日に合わせ、図書館で絵本にちなんだ工作イベントを開催するなど、親子で図書館を訪れるきっかけづくりに取り組んでいる。保育園児とともに参加する親もおり、幼少期から絵本へ親しみを持ってもらうよう働きかけた。 ひよこの会でも出張図書館を開催し、親子に気軽に本を手取る機会を提供することで、家庭での読書推進を呼び掛けている。</p>		
評価委員の 意見・評価等	生涯学習の拠点施設内にある図書館の読書活動は評価できる。		

(事業名) 生涯学習推進体制の充実

活動内容	各種委員（社会教育委員・生涯学習奨励員等）の役割の明確化と研修の充実	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>平成29年度からの社会教育中期計画について、社会教育委員会を開催し、策定することが出来た。策定にあたり委員からの様々なご意見を頂戴し、今後の社会教育・生涯学習の運営について指針となるべき計画となった。次年度以降の事業実施に向け有効に活用したい。</p> <p>文化財保護審議会及び郷土資料部会の委員には、「上小阿仁の文化財」冊子の再版について、校正作業等にご尽力いただいた。</p> <p>生涯学習奨励員は北秋地区生涯学習奨励員協議会の研究大会で、大館市の小畑勇二郎記念館を見学し、生涯学習の基礎を学んだほか、子どもお正月生け花教室を開催するなど、生涯学習活動に取り組んだ。</p> <p>その他芸能公演部会が中心となった「かみこあに太鼓フェス2016」や、文芸美術部会の協力による学習週間の展示など、各委員が各々の役割を果たしている。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>社会教育中期計画を策定するなど、生涯学習の推進に努めており評価できる。</p>		

(事業名) 人材の発掘と積極的な活用

活動内容－1	新たな地域人材の発掘と活用（学校支援ボランティアなど）	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>学校支援地域本部コーディネーターが、学校支援ボランティア名簿を整備し、学校の要望に合わせてボランティア依頼を行っている。 農作業体験やスキー授業などは地域の協力が不可欠であるため、引き続き人材の確保に努めたい。 社会教育についても、現在協力していただいているボランティア以外にも、多くの隠れた人材がいると思われるので、今後、情報収集を進めながら人材の発掘を図りたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	人材の発掘は重要であり、引き続き努力してほしい。		
活動内容－2	サークル活動の学習成果を生かす場の拡充	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>芸能まつり、学習発表会を軸とし、村内の活動団体の発表の場を設けている。今年度は新たに公民館自主事業として「かみこあに太鼓フェス 2016」を開催することができた。上小阿仁村の太鼓グループ鼓響が結成されてから10年以上経過したことを踏まえ企画した事業であり、今までの活動の成果を披露する場となった。 また、書道や陶芸、絵画・写真などの文化作品については、今後特別展示などの開催により、より多くの住民へ鑑賞していただけるよう企画をする予定である。</p>		
評価委員の 意見・評価等	評価できる。文化作品の展示会が開催できるよう努力してもらいたい。		

(事業名) 伝統文化・伝統芸能の継承

活動内容－1	公民館、地域、学校等の連携による郷土芸能継承活動の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>八木沢番楽講座については一般を対象として4月に募集をしたが、申込者がいなかったため8月にも再募集として村民へ呼び掛けた。結果的に申込者はいなかったが、個別の声かけにより1名の在村青年にふるさとフェスティバルの八木沢番楽に出演いただいた。今後も引き続き青年層への呼び掛けを継続したい。</p> <p>小中学校でも積極的に郷土芸能継承活動に取り組んでいる。講師として地域の方々の協力もあり、学校と地域が連携した活動となっている。</p>		
評価委員の 意見・評価等	郷土芸能継承に積極的に取り組んでおり、評価できる。		
活動内容－2	郷土資料の収集、活用の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>地域センターの解体に伴い、センター内保管の郷土資料について、郷土資料部会委員のご協力により、体育館へ移動・保管をしている。学習センターの郷土資料室についても随時委員により整理され、見学しやすい環境作りがなされている。</p> <p>引き続き委員と連携の上、資料の収集や保管場所の確保、及び資料の活用について検討をする必要がある。</p>		
評価委員の 意見・評価等	郷土資料の保管・整備など継続した活動、評価できる。保管場所の確保に努力願いたい。		

(事業名) 生涯スポーツ等の充実

活動内容－1	小学校運動部活動の社会体育移行	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>団体競技(野球・ミニバス)、個人競技(陸上・スキー)ともにスポーツ少年団として活動をしており、社会体育移行が完了した。 地域の指導者や学校の支援をいただきながら活動を見守るとともに、よりよいスポーツ環境作りに努めたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>小学校運動部活動が社会体育へ移行が完了し、活動されており評価できる。</p>		
活動内容－2	各種社会体育関連行事の開催と参加	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○チャレンジデー2016 in 上小阿仁(5月25日) チャレンジデー3回目にして、目標としていた参加率65%を達成(66.2%)することができた。住民へチャレンジデーが広く認識されてきており、次年度は対戦相手にも勝利できるよう取り組みたい。</p> <p>○秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン!大館大会 28年度は大館市が会場となり、選手や保護者には2日間日帰りでの移動でご負担をおかけした。可能であれば、なるべく選手の負担を減らすべく、試合会場付近へ宿泊するなどの配慮が必要と感じた。競技結果は見事村の部で3連覇を果たすことができた。</p> <p>○その他事業として総合型クラブスマイルによる社会体育事業や、混合バレーボール大会、綱引大会など各種恒例事業において関係各位のご協力により実施することが出来た。 今後も村民の健康づくりやスポーツ活動を支援するべく、関係団体と連携しながら事業実施に努めたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>年間行事計画による開催であり、評価できる。今後も計画的な事業推進に努力してほしい。</p>		

4. 評価委員会からの意見

総合的に努力の成果が見られ、評価できる。

特に学校関係については非常に頑張っているように見受けられ、このまま継続していただきたい。

社会教育については、高校生・青年層の活動できる事業も取り入れる等の事業展開を望みたい。

今後も努力して成果が上げられるよう期待したい。